

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第63回（通算第142回）定例会 会議録

- ◆日時：令和4年3月15日（火） PM7：15～8：25
- ◆場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
- ◆出席者： 14名 +オンライン 0名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：25】

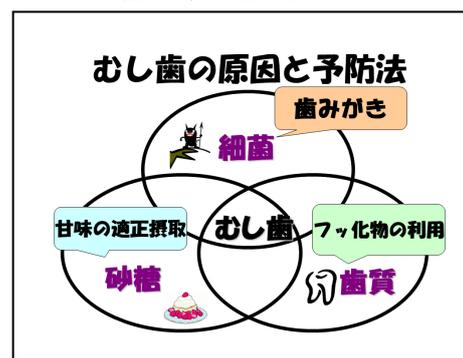
19：05～	開 会
19：05～19：10	情報提供 ・ヤマシタ通信
19：10～20：05	研 修 「ある歯科医師のつぶやき」 講師：初山歯科医院 初山 昌平氏
20：05～20：25	質疑応答
20：25	閉 会

【研修内容】

●「ある歯科医師のつぶやき」

- ・最近の虫歯の状況
むし歯のない子供が増えている
むし歯は努力でなくせる
小学生の6割はむし歯は一本もない
口腔内からネグレクトを探す
先進国ではむし歯は征服された病気
- ・今までのむし歯の予防法
 - 1 食べたら磨こう
(100%はみがき・歯ブラシ中心)
 - 2 砂糖制限
 - 3 早期発見、早期治療
(詰めたら安心)

・むし歯の原因と予防法



- ・むし歯の予防法が変わった！
早期発見・早期予防（できるだけ削らない・詰め物にも寿命が）
飲食回数制限
フッ化物の利用
予防定期健診
- ・抜歯原因の第一位は歯周病！ 原因は細菌感染。感染＝発症でない。感染してすぐに歯周病が発病するわけではない。好発時期である中高年までじっと待機している
- ・糖尿病が歯周病に及ぼす影響
糖尿病に罹っている人は、糖尿病でない人と比べて歯周病になりやすい。歯周病が進行しやすい。血糖コントロールが悪いと、歯周病が進行するリスクが高まる。
糖尿病にかかっている進行した歯周病もある人が歯周病の治療をしないで放置すると、血糖のコントロールが悪化。歯周病の治療をすると歯周病が治っていくと共に血糖のコントロールが改善
歯周病をコントロールすれば、HbA1c が 0.6～1% 下がるという調査研究結果もある

●質疑応答

- ・ワーファリンを飲んでいる人は、抜歯をするときに中止をしていたが、最近は止めずに治療する。しかし骨粗しょう症の薬を飲んでいたら、抜歯後治らないので、注意をしている。治らず、顎骨壊疽になることも。注射をしているケースや本人が服用していることを覚えていなくて、治療後治らなくてわかることがある。抗がん剤使用時も同様。そのため、治療にあたってはお薬手帳を活用している
- ・田辺市は小学生へのフッ素塗布を積極的に取り組み、むし歯予防で効果を上げている。保育所や幼稚園に拡大できていないのが残念。
- ・歯磨き粉の使用については、研磨剤が含まれてはいるが、フッ素も含まれているのでできるだけ使ってほしい。

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒
- ・マスク着用
- ・換気
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和4年4月19日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：研修 未定